

<夏季補習について>

7月下旬の5日間、夏季補習を行います。7月は、全学年、英語・数学・国語の基礎教科を中心に実施します。時間割と補習会場については、教室に掲示してあるプリントで確認してください。短い期間の補習授業です。必ず予習と復習を行い、休むことなく受講してください。学習と部活動の両立を実現しましょう。

なお、3年生は、8月下旬に地歴・理科を中心に、夏季特別補習を3日間行います。夏季特別補習では、1講座150分の集中講義形式で実施します。NAGARA HIGH SCHOOL CALENDAR 2022-2023から日程変更が若干あります。3年生夏季特別補習も、時間割と補習会場について、教室に掲示してあるプリントで確認してください。いよいよ受験モードに入ります。

<夏を制する者は、受験を制する。>

3年生の生徒諸君にとって、この夏は受験の天王山です。不得意科目・苦手分野を克服できる最後のチャンスといっても過言ではありません。学習計画を立て、実行するのは貴方自身です。特に、基礎教科（英数国）に時間を掛けて取り組むことのできるの、この夏季休業の期間しかありません。学習方法については、各教科担任のアドバイスを得てください。

次は、学習方法の一つの例です。

- ・英語；受験科目として最も重要な教科は、英語です。

リーディングについて、たとえば長文読解に苦手意識のある場合、一日一題長文読解の問題を解くことです。リスニングについて、たとえば午後7時から30分間はリスニングの問題演習に取り組むなど、解答する時刻を毎日一定にすることも1つの方法です。大学入学共通テストは、リーディング100点、リスニング100点ですが、大学によっては傾斜配点されます。

- ・数学；得点率に差を生じやすい教科は、数学です。

外部模擬試験の個人成績票の設問別成績をもとに、苦手分野を明確にしましょう。たとえば『数列』や『ベクトル』が苦手な人は、問題集のその単元の問題の中で、解けない問題の解答解説を見ながらノートに書き写すことも1つの方法です。もちろん、考えながら書き写して理解しましょう。単なる作業にならないように、注意は必要です。

- ・国語；すべての教科の土台となる教科は、国語です。

外部模擬試験によって、現代文・古文・漢文の得点にバラツキがある場合は、問題演習量の不足が考えられます。たとえば、古文・漢文を強化する場合は、単語や句法や文法について、授業で使用している教材を見直して復習しましょう。新しい教材を個人で購入するより、昨年度使用していた教材をもう一度解き直すことも考えられます。

夏の過ごし方は、3年生ばかりがクローズアップされますが、1，2年生の皆さんにとっても大切です。少なくとも、授業がある日以上に自分の時間が確保されると思います。そういう貴重な尊い時間を、何に使うか、どう使うかを考えることが次へのステップになります。

7月までの学習の遅れを取り戻す、苦手教科を何とかする、得意科目を伸ばす、模擬試験をもう一度やってみる、休み明けの生活のために貯金をつくる等々、宿題以外でやれることが思い切りできるチャンスです。

高校生活は、当然ながら勉強だけではありません。しかし、学校が始まると授業や小テストに終われ、やりたいことも100%楽しめない場合もあります。そうならないためにも、そして将来的に志望校に一步でも近づくためにも、この夏の使い方、考えてみてください。